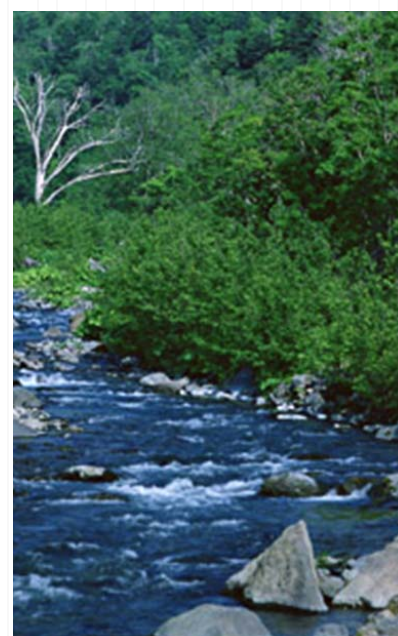
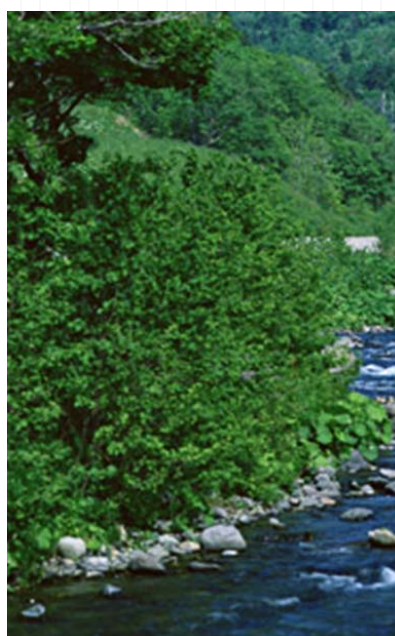


Environmental Report  
**環境報告書**  
**2017**



## 第1章 概要

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
プラスの環境目的・目標と実績	4

## 第2章 環境マネジメントシステム

環境管理体制	5
監査結果	6

## 第3章 環境負荷低減への活動

グリーンポンプの販売活動	7
照明器具のLED化	7
緑化活動	8
オフィスパワーの導入	8

## 第4章 地域社会とのコミュニケーション

熊本地震の被災者に支援	9
ヨシ植えボランティアに参加	9
第3回ミニロボ大会開催	9
海外留学生のインターンシップを受け入れ	10
琵琶湖博物館から感謝状	10

## 第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

本社	11
営業部	12
滋賀事業所	12

## 環境保全活動のあゆみ

## アンケート

---

## 編集方針・報告書の範囲

**編集方針** 「環境報告書2017」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。

**対象期間** 2016年度(2016年1月1日～2016年12月31日)

**対象範囲** この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。

■兵神装備株式会社

本社、滋賀事業所、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、さいたまオフィス、横浜オフィス、滋賀オフィス、名古屋支店、福岡営業所

■エイシンテクノベルク株式会社

本社、滋賀事業所

**発行部署** 兵神装備株式会社 全社環境事務局

〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54

TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504

**発行日** 2017年6月30日(次回発行予定:2018年6月)



## 兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

昨年は4月の熊本大地震の発生を皮切りに、夏には北海道に台風が3回上陸し、11月には都心で積雪を記録するなど、異常気象の常態化を感じさせる1年でした。

世界を見渡しても、地球平均気温が観測史上最高を更新し、台湾、イタリアなど各地でマグニチュード6を超える大規模地震が発生しています。こうした自然災害・異常気象に対する手立てとして、温暖化対策の国際的な枠組み『パリ協定』が昨年11月に発効され、国内においても5月に地球温暖化対策計画が閣議決定されています。このような状況下、当社も微力ながら地球環境保全に資するべく、昨年も環境負荷低減活動を推進しました。

製品開発においては、主要部品を交換する際に金属外筒を分離再利用できる仕組みや、蒸気滅菌を効率的に行えるポンプ、接着剤塗布工程において液剤のロスを最小限にする塗布機の開発を完了し、発売を開始しました。

社屋においては、天井灯のLED化や工場敷地の緑化などを推進し、環境整備に努めました。加えて社員の健康増進を念頭に、夜間残業を減らし朝方勤務を奨励する勤務時間制度を導入し、設備の効率利用にも寄与しました。

地域においては、熊本地震で被災された方々への支援や琵琶湖畔の植樹、留学生インターンシップの受け入れなどを実施し、交流を促進しました。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献活動をご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

## 環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

## スローガン

限りある資源を大切にし、環境にやさしい製品を創り続けます。

## 基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるヘイシンモノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。
  - ① 廃棄物の削減及び適正処理  
廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。
  - ② 排水の適正処理  
化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。
  - ③ 資源・エネルギーの効率利用  
資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。
  - ④ 環境にやさしい製品の設計・開発  
有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。
  - ⑤ 環境製品の販売促進活動  
省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。
2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。
3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るよう努めます。
4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。
5. ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

2003年1月

**兵神装備株式会社**  
**ヘイシンテクノバルク株式会社**  
代表取締役社長 小野 純夫

当社は、

- 「ヘイシンモノポンプ」の研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素の排出、廃液、廃プラスチック、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。



※CO<sub>2</sub>排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油、灯油の消費量をすべて換算し、合計しました。  
(各換算係数は、環境省ガイドライン、関西電力、大阪ガスのデータを参照しています。)

## プラスの環境目的・目標と実績

前年に引き続き、省エネ・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

### ■ ハイジェニックステーター

食品業界向けヘイシンモノポンプ専用のステーターを発売しました。

従来はゴム筒部と金属外筒を一体成型していましたが、本製品では多角形構造のゴム筒部を金属外筒上下2部品で挟み込んでクリップ止めする構成を採用しました。これにより、工具を使わずに簡単にステーターを分解でき、各部品を隅々まで洗浄・消毒することができるようになりました。

またポンプ性能が低下した際はゴム筒部の交換だけで済み、金属外筒はリユースすることができ、これによって環境性能を高め、メンテナンスコストの削減にも貢献します。

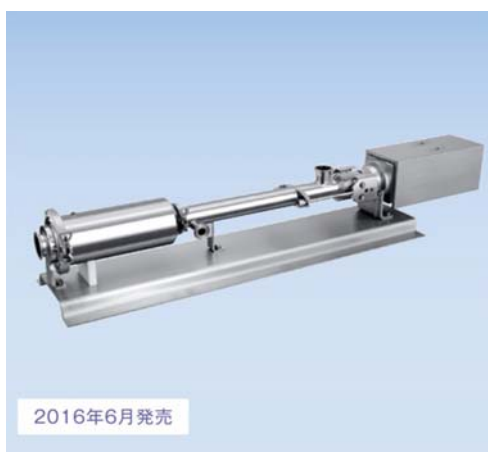


### ■ SIP対応ポンプ NHLA型

蒸気や加圧熱水による定置滅菌(SIP)が行えるポンプを発売しました。

食品、化粧品、医薬品業界の製造ライン機器に対する無菌、滅菌のご要望は、年々高くなっていますが、本製品はこれに本格対応するポンプとして開発しました。

通常運転時はエア加圧によって締め付けているステーターを、SIP時にはエアを排出することでゆるめ、ローターとの間に加圧熱水や蒸気の通り道を設け、低駆動力でポンプ内部を滅菌できるようにしました。

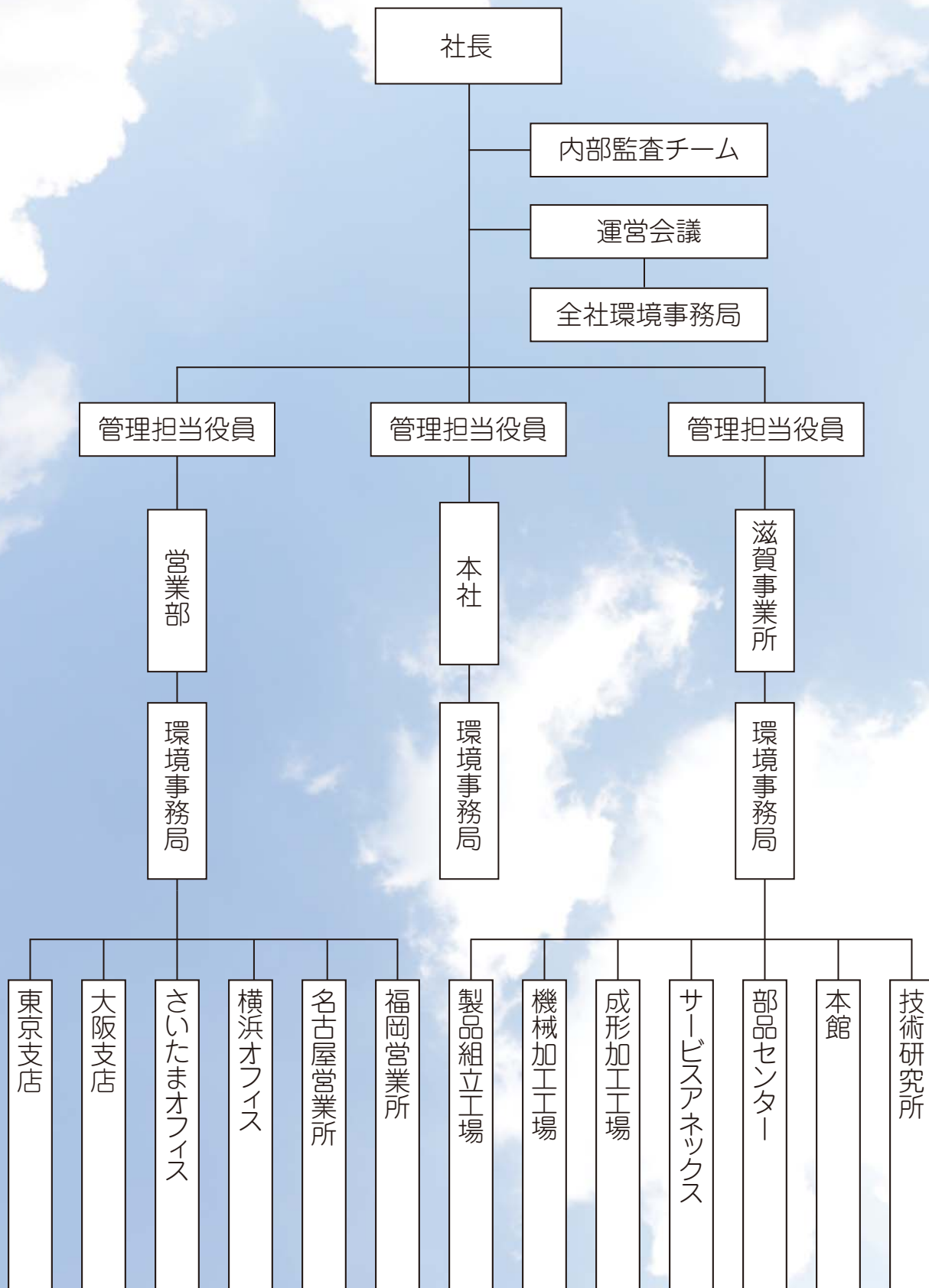


### ■ ヘイシンディスペンサー2HD035G30型

ディスペンサーHD型に新たなバリエーションを加えました。本製品は、電子部品などの製造工程において高粘度液を微量で高精度に塗布・充填することのできる吐出装置です。従来のコンパクト設計はそのままに、従来のHD型では対応できなかった最大320 $\mu$ L/秒の吐出を可能にし、より高速での塗布を実現しました。

例えば、液晶ディスプレイにUV接着剤を塗布する工程において、高精度でムラなく均一に塗布することで液剤を無駄なく使用でき、商品ロスも少ないというメリットを提供します。





## 内部監査

廃棄物処理や電力削減の状況、及び遵法確認を中心とした内部監査を実施しています。  
2016年5月に各サイトで監査が実施され、本社において不適合事項が1件確認されましたが、翌6月に是正処置が行われ、問題がないことが確認されました。

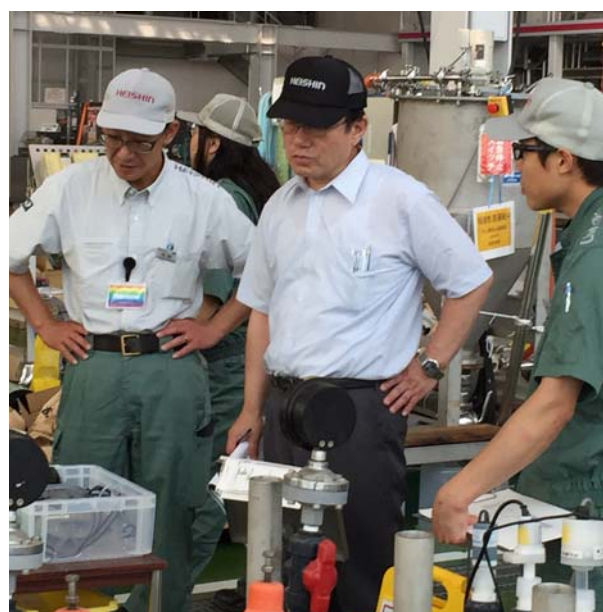


## 外部監査

ISO14001のサーベイランス監査が、7月11日～15日にわたり、本社、さいたまオフィス、横浜オフィス、滋賀事業所にて行われました。

監査の結果、いずれも不適合事項はなく、認証は維持できましたが、滋賀事業所新館の建設工事や新規設備導入、使用する資材などについて環境側面の抽出が不明確など、11項目の推奨改善事項がありました。

今後はISO規格改訂の理念を踏まえ、建屋やサイト中心の環境活動から、日常業務の改善に軸足を置いた活動に注力してまいります。





### ■ グリーンポンプの販売活動

近年、グリーンポンプとして中国市場のリチウムイオン電池製造ラインに向け、スラリー液移送用モノポンプを販売しています。

中国は急激な経済成長に伴い、自動車や工場から出る排気ガスによる大気汚染が進行しています。このため中国政府は排ガス抑制策の一環としてエコカー導入を推進する補助金制度を導入。この結果、エコカーの販売数が急増し、元々携帯端末用途がメインだったリチウムイオン電池が車載用として注目を集めるようになりました。その製造工程で大きな役割を果たすのが、電極に薄膜を塗工するプロセスであり、ここで当社のモノポンプが使用されています。昨年から今年にかけて、塗工機に当社ポンプがセットされ、中国現地の電池メーカーに納入されるケースが増えており、このようにして当社製品が中国の排ガス抑制対策に貢献しています。



【リチウムイオン電池製造ライン向け ヘイシンモノポンプNHL型】

### ■ 照明器具のLED化

滋賀事業所では、照明器具のLED化を横展開しており、昨年は、製品組立工場の天井灯(セラミック・メタル・ハライド・ランプ)をLEDランプに置き換え、省エネ効果を発揮しています。

この際に、高い位置にあった照明器具を、壁際や棚の上など設置場所を変えることで、電球交換をしやすくし、交換時の安全性に配慮しました。



【LEDランプ】

■ 緑化活動

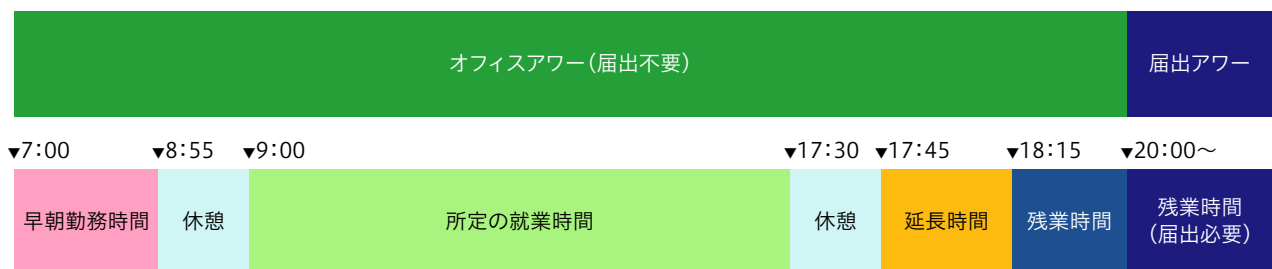
滋賀事業所の成形加工工場にはニガウリ、パッションフルーツ、朝顔を植え、敷地内のヒートアイランド化を防ぐとともに、地域環境との調和も図っています。本社においても、駐車場エリアを拡張して樹木や草花を植えており、近隣の方々の憩いの場となっています。



【成形加工工場の植栽】

■ オフィスアワーを導入

社員の健康を維持し、ワークライフバランスを適切に保つことを狙いに、朝方勤務を奨励する「オフィスアワー」を全社に導入しました。社員の就業時間帯を7時～20時と定め、20時以降の残業を原則禁止とし、同じ労働条件の朝方勤務を奨励しています。これにより、夜間の残業が抑制され、社員1人当たりの実労働時間も減少しました。社員の健康に資するとともに、館内照明や空調機器の使用電力の削減につながっています。



## ■ 熊本地震の被災者に支援

2016年4月の熊本地震発生当時、当社の取引先である宇土市のカネリヨウ海藻株式会社様から支援物資の要望があり現場に届けました。また全事業所の社員から計39万円の義援金が寄せられ、会社からの分と合わせて計100万円を日本赤十字社を通じ被災者に届けました。



## ■ ヨシ植えボランティアに参加

(財)ヘイシンイニシアティブ基金の活動として、長浜市主催のヨシ植えに若手社員主体に7名が応募し、10月1日に琵琶湖畔の下坂浜浄水場周辺の清掃とヨシ植えを行いました。



【ヨシマットを植え、杭で固定する】

## ■ 第3回ミニロボ大会開催

(財)ヘイシンイニシアティブ基金主催の第3回ヘイシンミニロボ大会が、長浜勤労者総合福祉センター臨湖で7月30日に開催されました。事前のミニロボ組立教室では、子供たちにもものづくりの楽しさを知ってもらうことができました。当日は、社員の子供とその友人で8チーム24名が参加し大変賑わいました。



【熱戦の様子】

## ■ 海外留学生のインターンシップを受け入れ

当社では初めてとなる、海外留学生のインターンシップ受け入れを実施し、8月29日～9月15日の約3週間にわたり滋賀事業所で開催しました。滋賀大学から、製造業に興味のあるベトナム人の方1名と中国人の方1名、計2名が当社での研修を選択されました。

研修は「日本的製造業経営の強さの秘密を探る」をテーマとし、計24名の社員が講師を務めました。研修最終日には、滋賀大学経済学部長 小倉明浩教授をお招きして成果発表会を開きました。



【成果発表会の集合写真】

## ■ 琵琶湖博物館から感謝状

琵琶湖博物館(滋賀県草津市)のリニューアル事業に協賛し、9月23日に開催された感謝状贈呈式で感謝状を授与されました。

同館は琵琶湖の水生物博物館で年間36万人が来館されています。1996年のオープンから20年が経過し7月に新装されました。世界で唯一の生き物などを体感できる施設に生まれ変わっています。



【館長より感謝状を授与される】

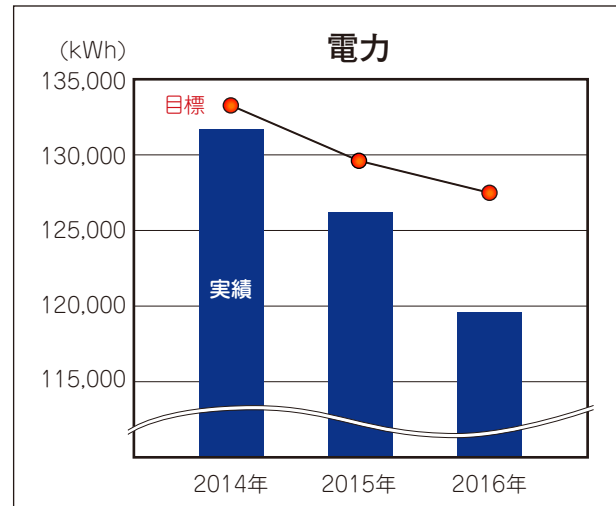
## 本社

環境側面	2015年		2016年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	129,936	125,770	127,284	119,780

本社の2016年度の環境目標は、2011年度の年間購入電力量(144,461kWh)から11.9%の削減を目指しましたが、結果は目標を上回る17%の削減を達成できました。主な節電対策としては、別館4Fサーバーのうちの3台を1台に統合することで使用電力を減らす施策を実施しました。

一方で、インフルエンザ罹患対策として、加湿器2台をレンタルで導入し、これを執務室に配置することで湿度を50%台に保ち部屋の乾燥を防ぎました。

その他、コピー用紙の使用量は前年比3%増、リサイクル紙の排出は1%増となりました。水道使用量は9%増加、一般可燃ゴミも17%増加しました。また使用済み粉体の排出は677kgと、昨年の3割減となっています。

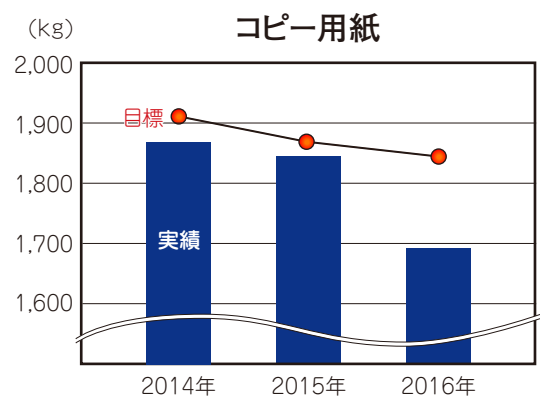
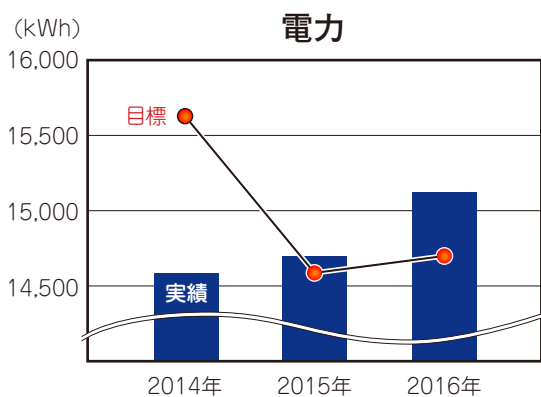


営業部

環境側面	2015年		2016年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	145,930	146,609	146,609	152,039
コピー用紙(kg)	1,871.7	1,845.7	1,845.7	1,693.4

2016年度は電力・コピー用紙ともに前年実績を目標としました。

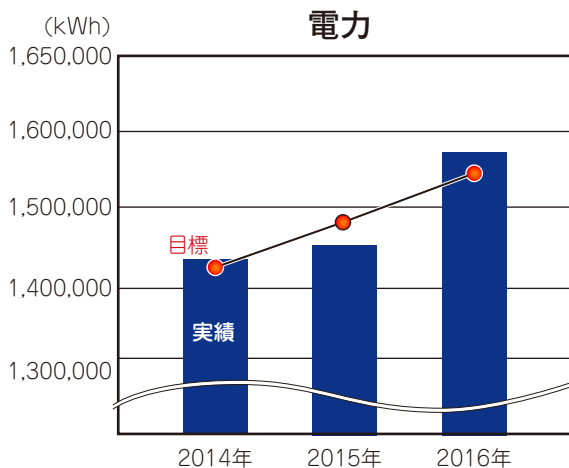
結果として、コピー用紙は8%削減されましたが、電力については技術部員の営業拠点への異動や、職場の湿度50%確保のための加湿器稼働などにより、前年を3%ほど上回る結果となりました。またグリーンポンプに関しては、拠点毎のバラつきはありますが、全体では販売目標を達成しています。



滋賀事業所

環境側面	2015年		2016年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	1,484,451	1,433,155	1,542,627	1,577,970

2016年は前年に引き続き、試験研究開発に使用設備など不確定な部分を除外した電力を活動対象としました。設備の増減等を考慮し数値的な目標は前年対比+7.6%を目標に設定しましたが、実績は目標値に対して+2.3ポイントとなりました。これは、生産金額が+8.8%であったことと、生産に直接影響が少ない技術研究所の試験研究分と、新規設備導入による増加が要因と考えられます。



## 当社の活動

- 滋賀工場でISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定
- 滋賀工場ISO14001認定取得
- 環境報告書2001発行
- 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定  
全社環境綱領の制定
- 拡張監査・滋賀工場更新審査  
• 全社ISO14001認定取得
- 化学物質管理委員会発足  
• グリーン調達推進委員会発足、説明会開催  
• 化学物質管理規定発行  
• 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設
- アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言  
• ノンタルエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応  
• 環境報奨規定を制定  
• 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル
- 技術研究所で太陽光発電システムを稼働  
• 神戸本社で太陽光発電システムを導入  
• 製品/ヘイシンロボティクスシリーズに分解・洗浄性を高め、残液ロス低減の新製品をラインアップ
- 環境材料分科会を滋賀工場で開催  
(滋賀県東北部工業技術センター主催)  
• サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル  
• 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノパルク  
テクニカルセンターを開設  
• 本社の外構を環境に配慮してリニューアル  
• 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプ  
を新発売

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

## 世の中の動き

- 地球温暖化対策推進法制定
- PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律)制定
- 環境型社会形成推進基本法制定  
• グリーン購入法制定  
• 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定  
• 資源有効利用促進法制定
- 環境省発足  
• 家電リサイクル法施行
- PRTR法完全施行  
• 土壌汚染対策法制定  
• エネルギー政策基本法制定  
• 地球温暖化対策推進法改正
- WEEE(EU廃電気電子機器リサイクル指令)発効  
• RoHS(EU電気電子機器危険物質使用制限指令)発効  
• 首都圏ディーゼル車規制施行  
• 環境教育推進法施行
- 気候変動枠組条約第10回締結国会議  
(COP10 アルゼンチン)  
• 国際環境規格ISO14001-2004年版発行  
• 大気汚染防止法改正
- 自動車リサイクル法完全施行  
• 京都議定書発効  
• 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催  
• COP11 カナダ・モントリオールで開催
- COP12 ケニア・ナイロビで開催  
• RoHS指令開始(EU)  
• REACH採択(EU)
- G8ハイリゲンダムサミット開催(ドイツ)  
• COP13 インドネシア・バリで開催  
パリロードマップ採択  
• 食品リサイクル法改正  
• フロン回収破壊法改正

## 当社の活動

- 滋賀工場オープンカンパニーを開催
- 製品/環境に優しいハイシンドラムポンプシステムのペールシリーズを新発売
- 6月5日を「兵神装備環境の日」として第1回環境大会を開催
- 騒音や排ガスを低減した、大型展示車を製作
- 第3回発明大会にて「メタンハイドレードについて」記念講演実施
- 技術研究所に、地下水を利用した空調ファンコイルを設置

- 省エネや安全に配慮した新しい営業展示車を製作
- 浄水場の薬液注入用ポンプ装置「ハイシンモノポンプ薬注ユニット オールinワン」を発売
- 製品組立工場内に、作業環境を改善する「作業ルーム」を設置

- 本社ビルを省エネを主眼に全面リニューアル
- 社員パソコンに、社外から遠隔操作可能なシンククライアント機能を導入
- 太陽電池、LEDの製造に貢献する「ハイシンマイクロディスプレイセンサー」発売

- 食品製造に貢献するハイジェニックシリーズ「NHL型」、二次電池製造に貢献する新材質「アルミナセラミックローター」を発売
- 夏期・冬期に節電対策を実施
- 日経ニューオフィス賞「近畿ニューオフィス賞特別賞」を受賞

- 食品や薬品の包装技術を支える短型ポンプ「NHL-G型」、耐摩耗性に優れた下水向けポンプ「NE88型」を発売
- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムとガスコージェネレーションシステムを導入
- ロボディスプレイND型に採用されている軸シールに関する発明により、文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞
- 東日本大震災の被災地向け復旧支援事業として、東北各地の下水処理施設にモノポンプを納入

2008

- 京都議定書約束期間スタート
- 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温暖化対策推進法」改正
- G8洞爺湖サミット開催(日本)
- 化学物質に関する欧州連合(EU)の「REACH(リーチ)規制」が本格施行
- 東京国際環境会議開催
- 国連環境計画(UNEP)が「環境版ニューディール政策」を提唱
- 全国型エコアクション・ポイント開始(環境省)

2009

- <国内>
- 新型インフルエンザが流行
  - エコカー減税と高速道路料金上限1000円の割引を実施
  - 太陽光発電の買取制度始動
  - エコポイントでグリーン家電の買い替え促進
- <海外>
- COP15/MOP5、コペンハーゲンで開催
  - 米国を中心に、環境分野への重点的な投資で景気回復や雇用創出を図る「グリーンニューディール」が始動
  - EUで、白熱電球の販売禁止令が発令される
  - 7月の世界の海水温が過去最高を記録

2010

- <国内>
- 生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)名古屋会議の開催
  - 国内高速道路の一部無料化社会実験が開始
  - 国内緊急経済対策として住宅エコポイントが3月から申請受付が開始
- <海外>
- EU、2020年までのエネルギービジョンをまとめた新戦略を公表

2011

- <国内>
- 福島第一原発の事故と、原子力発電の見直しおよび自然エネルギーへの転換加速
  - 電力会社からの節電要請、計画停電の実施
  - 再生可能エネルギー促進法が制定
- <海外>
- 福島原発事故で欧州に脱原発の動き
  - タイで大規模な洪水が発生、多くの工場で操業停止
  - 世界人口が70億人突破

2012

- <国内>
- 京都議定書第一約束期間が終了し、改正京都議定書を採択(COP18)
  - 白熱電球の国内生産が終了
  - 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興ビジョン
- <海外>
- 中国南部で河川にカドミウムを垂れ流し、市民はペットボトルに殺到
  - 北京市を覆う厚いスモッグ、「PM2.5」が403の数値を示し米大使館が「有害」との判断
  - 「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」20年ぶりにブラジルで開催。国連加盟188ヶ国参加

## 世の中の動き



## 当社の活動

- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムを新たに300kW増設。また地下水を利用して冷房するファンコイルも増設。
  - 下水処理場などで使用する、長期安定した寿命を持つ脱水ケーキ用「SHD」を開発。
  - 「びわ湖の日」の7月1日に行われた「琵琶湖・余呉湖一斉清掃活動」に参加。
- 
- 省エネ・省資源・長寿命化を主眼とする製品、「鋼板補強材塗布システム」「マイクロリットルシリーズ HMC型」「磁性ゴムステーターSHLG」「ホースフリーシステム」を開発、発売。
  - 滋賀事業所の部品センター屋根上に100kWの太陽光発電システムを設置し、12月から発電を開始。合わせて510kWを発電。
  - 当社が提供した支援金が建設資金の一部に充てられた、東日本大震災での遺児のケア施設「レインボーハウス」が完成し仙台に竣工。
- 
- 浄水場に向けて、活性炭と水の混合液（スラリー）を連続注入する装置「ヘイシン カーボインジェクション ユニット」を開発、発売。
  - 滋賀事業所のサーブリアネックス屋根上に100kWの太陽光発電システムを設置し、発電を開始。合わせて610kWを発電。
  - 小谷城址保勝会が主催する小谷城跡の山桜苗木植林活動に、当社からボランティアとして参加。
- 
- 金属外筒を再利用できる食品業界向けモノポンプ専用のステーターを発売。
  - 中国市場向けグリーンポンプ販売。
  - 琵琶湖畔のヨシ植えボランティア参加。

2013

2014

2015

2016

## 世の中の動き

- <国内>
- 記録的猛暑、四万十市で観測史上最高気温41.0度を観測
  - 福島第一原発で地下水の流入による汚染水の増加と貯蔵槽からの放射能汚染水漏れ
  - 富士山の世界文化遺産登録と入山料論議
- <海外>
- 中国でPM2.5等の大気汚染による濃霧が過去50年で最多
  - 水銀に関する水俣条約の採択92か国署名、2020年以降使用・廃棄が規制される
  - 猛烈な台風がフィリピン中部を直撃、約1600万人が被災
- 
- <国内>
- 長野・岐阜の御嶽山で、水蒸気噴火が発生。57人の死者を出す。
  - トヨタ自動車の世界初の一般向け燃料電池自動車“MIRAI”の販売を発表。
  - 広島市北部で局地的な豪雨による大規模な土砂災害が発生。
  - 国際司法裁判所が、日本の南極海での調査捕鯨の中止を決定。
- <海外>
- アフリカでエボラ出血熱の感染拡大。
  - イスラム過激派組織“イスラム国”が勢力拡大、米軍がイラクで空爆開始。
- 
- <国内>
- フロン排出抑制法改正4月:エアコン等簡易点検・定期点検の実施と記録の保管義務。
  - 鬼怒川の堤防決壊で大きな被害が発生。
  - 九州電力川内原発第1号機が再開、2年ぶりに国内の原発0に幕。
- <海外>
- ISO14000の規格全面改定。
  - COP21、「パリ協定」を採択、地球温暖化防止に向けた新たな法的枠組みがまとまる。
  - ネパールでM7.8の大地震、死者1,500人の大惨事。
- 
- <国内>
- 常態化してきた異常気象（記録的な大寒波、6度の台風上陸）。
  - 4月熊本地方を連続で襲った熊本地震(M6.5,M7)、10月鳥取県中部地震(M6.6)。
  - G7伊勢志摩サミット、サミット後のオバマ大統領の広島訪問。
- <海外>
- 北朝鮮、初の水爆実験実施。
  - シカ熱でWHOが緊急事態宣言。
  - 「パリ協定」の発効。

Q1:この環境報告書をお読みになってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い                      やや良い                      普通                      やや悪い                      悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い                      やや良い                      普通                      やや悪い                      悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い                      やや良い                      普通                      やや悪い                      悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みになって、物足りない内容や改善した方がよい点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みになっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家  
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に( )

**ご協力ありがとうございました。**

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)  
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL:

FAX:

E-Mail: